

## 日本 AKA 医学会 講習会・研修会開催ガイドライン

### 新型コロナ流行時における研修会の開催について

新型コロナの流行により新しい生活様式が推奨されています。三密を避けながらの生活が必要になり、研修会の開催についても新たな様式で行う必要があるため、以下のように行ってください。

- 1) 医療機関での開催は原則行わない。感染者が出た場合医療機関が最低 2 週間診療中止になるため、コロナが収束するまでは医療機関のリハビリテーション室や体育館を借りての研修は行わない（具体例として岡山県の河田病院、神奈川県の新緑総合病院、高知県の島津病院など）。商業施設などの会議室を考慮
- 2) 幹事が責任者である医療機関については幹事の裁量で開催可能であるが、感染が発生した場合の保障は AKA 医学会にはできないので了承のうえ開催すること
- 3) なるべく広い会場でベッドを 2m 以上離して設置すること、広い会場が確保できない場合は複数の部屋を用意して密にならないように設置すること
- 4) 開催前に受講者・指導者の検温・体調管理の問診を行い、発熱がある場合や体調不良がある場合は辞退していただくことを研修会の案内に記載するとともに当日もそのように対応すること
- 5) 入口に手指の消毒液を設置し消毒の徹底、マスクの着用（フェイスシールドは希望者のみ）の徹底、換気を定期的に行うなどの感染対策を徹底すること
- 6) 博田先生のデモは 2m 以上離れた場所から行ってもらう。博田先生にもマスクの着用、フェイスシールドか携帯用の空気清浄機を装着してもらう（携帯用の空気清浄機は事務局より博田先生に渡してあります）。午前の部・午後の部共にできれば一回で済ませる
- 7) 指導者講習会の場合、博田先生が指導するベッドは一つとする。それぞれの班が順番になれば移動して指導を受ける。それ以外は離れたベッドで指導者補助の指導のもとで研修を行う
- 8) 地域研修会の場合、博田先生は時々ベッドを回って指導を行う。各ベッドの指導医・指導者がメインで指導を行う
- 9) 昼食も密にならないように工夫する、研修の時間をずらすなどして分散する
- 10) 参加者の連絡先、メールアドレスやラインなどを確認して感染者が出れば研修会幹事に連絡してもらい、参加者全員に連絡がつくようにして検査を受けるなど対応をお願いする